








骨軟部腫瘍グループ：軟部肉腫治療開発マップ

2023.9.

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬		
Stage I	 広範切除 ¹⁾					
Stage II						
Stage IIIA	 深在性腫瘍の場合 JCOG0304 Phase II 広範切除 ¹⁾ + 術前後 アドリアマイシン +イホスファミド (AI療法)	 浅在性腫瘍の場合 広範切除 ¹⁾	 JCOG1306 Phase II/III 広範切除 ¹⁾ + 術前後AI vs. 術前後GD 2014.2~2018.9 →2023.9	 JCOG2102 Phase III 広範切除 ¹⁾ + 術前後AI 5コース vs. 術後AI 3コース 2022.11~	 JCOG2214INT (EORTCとの共同試験) Phase III 後腹膜発生平滑筋肉腫または脱分化 型脂肪肉腫 広範切除 ¹⁾ vs. 広範切除 ¹⁾ +術前アドリアマイシン +ダカルバジンまたはイホスファミド 2023.9~	
Stage IIIB						
Stage IV	アドリアマイシン イホスファミド ²⁾ パゾパニブ ²⁾ トラベクテジン ²⁾ エリ布林 ²⁾ ゲムシタピン +ドセタキセル (GD療法) ^{2,3)}	 JCOG1802 Phase II 二次治療 トラベクテジン vs.エリ布林 vs. パゾパニブ ランダム化 Phase II 2019.12~2023.3→2024.9		ゲムシタピン ³⁾ ドセタキセル ³⁾		

1) 腫瘍を健常組織で被包し一塊として切除する手術法

2) セカンドライン以降での使用 3) 軟部肉腫は適応外

* 再発例は、遠隔転移を伴わない場合は原発腫瘍に準じて取り扱う。遠隔転移を伴う場合はStage IVに準じて取り扱う。